

令和6年度事業計画に基づく取組実績

法人整理番号	23	名称	(公財)埼玉県暴力追放・薬物乱用防止センター
--------	----	----	------------------------

1 経常利益の対前年度増の目標達成に向けた取組実績（令和6年度）

(千円)

目標の概要		R2	R3	R4	R5	R6			R7
		実績	実績	実績	実績	計画	実績	前年度増減額	計画
賛助会員の新規獲得により、経常利益を前年度より13万円増加させる。	経常収益	37,490	36,163	37,379	36,265	36,279	36,363	98	36,376
	経常費用	37,778	35,930	37,254	36,619	36,577	36,755	136	36,518
	経常利益	-288	233	125	-354	-298	-392	-38	-142

取組項目	具体的取組内容	収支			
賛助会員の新規獲得	不当要求防止責任者講習や職域及び地域暴力排除推進協議会が開催する講習会等において、暴追センターの活動を広く紹介するとともに、その必要性を訴え、賛助会員加入の働きかけを強力に推進する。 賛助会員の新規獲得は、年間10団体（個人）以上を目標とする。		計画	実績	計画との乖離
		収益	12,880	12,900	20
		費用	12,880	12,900	20
		利益	0	0	0
取組項目	具体的取組内容	収支			
			計画	実績	計画との乖離
		収益			0
		費用			0
		利益	0	0	0
取組項目	具体的取組内容	収支			
			計画	実績	計画との乖離
		収益			0
		費用			0
		利益	0	0	0

法人による自己評価
賛助会員数は、前年度の543団体（個人）から551団体（個人）と8団体増加したものの、退会や口数の減額により、当年計画値と比較して2万円、前年度実績と比較して5万円の増収に留まり、経常利益の前年度比13万円増の目標を達成できなかった。 これまでの事業に加え「匿名・流動型犯罪グループによる闇バイト」や「若年層による大麻使用、オーバードーズ」等、県民の身近に潜む社会問題にも着目した事業を推進してセンターの存在意義を高めるとともに、責任者講習や各種暴排推進協議会等、あらゆる機会を通じてセンター事業の必要性を訴え、賛助会員獲得に向けた勧誘及び会員の繋ぎとめを行っていく。

## 2 DXの推進等による生産性向上や経営効率化、サービス向上の目標達成に向けた取組実績（令和6年度）

目標の概要
マスコミのWeb記事、デジタルサイネージ、センターホームページ等を活用した広報啓発活動28件以上

### 目標達成に向けた取組実績（令和6年度）

取組項目	具体的取組内容	取組による効果	
		目標	実績
マスコミのWeb記事、デジタルサイネージ、センターホームページ等を活用した広報啓発活動	県民大会の開催やマスコットキャラクター作製等に際し、新聞社等マスコミにアピールし、同マスコミのWeb記事を活用した広報啓発活動を実施する。 また、協賛機関・団体等に、積極的に広報啓発用データ等を電子メールにて提供し、デジタルサイネージの拡大を図る。 更に、活動状況等をセンターホームページやSNSで発信する。	・暴力追放・薬物乱用防止意識の高揚 ・広報啓発資料のうち、データ化した機関紙「センターだより」をメール送信可能な事業所等に送信することにより、前年度の「センターだより」印刷部数より6%削減する。	・暴力追放・薬物乱用防止意識の高揚 ・機関紙「センターだより」について、データ送信と併用し、その印刷部数を前年度より22.7%削減し、資料提供を行った。
取組項目	具体的取組内容	取組による効果	
		目標	実績
取組項目	具体的取組内容	取組による効果	
		目標	実績

法人による自己評価
<p>例年どおり、約700名の参加をいただいて開催した暴力追放・薬物乱用防止埼玉県民大会のほか、当センターのマスコットキャラクター「追放くん」を3D化した「追放くん」（ダッシュ）を作製・活用して新聞社等マスコミを介し、広く県民の皆さんにセンター事業をアピールするなど効果的な広報啓発活動を実施した。</p> <p>また、機関紙「センターだより」については、前年度の印刷部数を削減し、電子メールによるデータ送信を併用して、業務の合理化、効率化を図ったほか、センター活動状況等をホームページやSNS等により、タイムリーに情報発信するなどデジタルサイネージの拡大を図りつつ、目標であった広報啓発活動28件以上を達成した。</p> <p>今年度も引き続き、県民の皆さんに身近で有用、かつタイムリーな情報提供、広報啓発活動を実施して行きたい。</p>